



2007～08 年度
国際ロータリー会長

Wilf WILKINSON

Weekly Report Niigata



2007～08 年度
新潟ロータリー会長

徳山 啓聖



ロータリーは分かち合いの心

2007-08 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 12 月第 4 例会 (2007.12.25) No.2735

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 徳山 啓聖会長挨拶

会長に推挙いただき、半期を大過なく迎えることが出来ました事、厚く感謝を申し上げます。

今年を振り返ってみますと、自己中心の想念によって全ての物事を自分本意にゆがめ、煩惱の色眼鏡を通して世間を見つめていた自分に恐れております。

その結果、愛と憎しみに彩られた迷妄の世界しか見えなかったような気が致します。来年度は少しでも愛憎を超えた、清らかな領域に目を向ける事に励みたいと思うものであります。

(3) 委員会報告

・和田 猛親睦委員長

1月15日は新年家族会です。多数のご参加お待ちしております。当日は柏崎の民話の語り手をお迎えしております。

(4) 幹事報告

- ・12月18日 ロータリー保育園を訪問し園児から歌と演奏のプレゼントをいただきました。
- ・渡辺ガバナーより2008年1月26日長岡造形大学に於いて開催されます地域防災セミナーのご案内を頂きました。参加希望の方は12月27日までに事務局へお申込下さい。
- ・2008年2月19日(火)恒例の旧新潟市内合同例会が開催されますので郵送にてご案内致します。
- ・2008年2月、市内7クラブ幹事が各クラブを表敬訪問します。
- ・ロータリー事務局は12月28日から1月4日までお休みさせて戴きます。

1月8日の例会予定

「新年初例会につき卓話なし」

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

ロータリー理解推進月間に因んで

ロータリー情報委員長 小 山 楯 夫

一月はロータリー理解推進月間です。R Iでは、この月間を「対外的には広報活動を通じて、対内的にはロータリー情報集会、討論、セミナーを通じてロータリーを推進するものである」と定めている。

と言われてもあまり馴染みがない。私の知る限り、今まで一月にそのような行事をしたことがないので具体的に述べることができない。そこで今回は、身近に行われているロータリーの「思い込み・勘違い」に付いて幾つか掲げてみたい。

1. ロータリーの正式会合(例会、合同例会、クラブ協議会、I.M、地区協議会、地区大会など)で点鐘して開会、閉会を宣言しなければならない。そして、ロータリー・ソングを唄わなければならない。また、第一例会では「奉仕の理想」を唄わなければならない。
2. 例会には食事が付きものである。
3. 例会にはネクタイ、背広着用でなければならない。
4. 例会日が一般に認められた祝日を含む法定休日に当たる場合、またはクラブ会員が死亡した場合などの他、例会取消し規定ではクラブ理事会の決定で、年四回例会を取消さなければならない。
5. 例会は一時間と決まっている。
6. 現会員の支店長が転勤した後任の支店長は、前支店長の所属したクラブに入会申込書を提出すれば当然入会が認められる。
7. 一時間の例会で、会務報告が済めば卓話が始まる前に早退しても、点鐘後 30 分間会場にいれば出席と見做される。
8. 例会のプログラムには討論や審議事項を避けるべきである。
9. 地区大会やI.Mに欠席しても、登録料を支払っておけば出席と見做される。
10. クラブ入会金と同様に、本人の了解なしに小額のR財団寄付金ならば同時に賦課してもかまわない。

など、以上はロータリーの非常識である。